

**課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要**

課題

人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築

研究テーマ名

移住者を惹きつける中山間地域の地域資本を解き明かす：山梨県での学際的地域協働研究

責任機関

公益財団法人地球環境戦略研究機関

研究実施期間

平成30年10月～2021年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者・グループリーダー 分担者 分担者 分担者（実務者） 分担者（実務者） 分担者（実務者）	高橋 康夫	公益財団法人地球環境戦略研究機関・自然資源・生態系サービス領域・研究員
	鮫島 弘光	公益財団法人地球環境戦略研究機関・自然資源・生態系サービス領域・リサーチマネージャー
	重藤 さわ子	事業構想大学院大学・准教授
	志沢 美香	やまなし木質バイオマス協議会・理事
	窪田 浩之	(有)スタジオアンビエンテ代表、一級建築士
	大野 航輔	(株)リトル・トリー代表取締役、道志村移住支援センター代表
分担者（グループリーダー） 分担者	山形 与志樹 吉田 崇紘	国立研究開発法人国立環境研究所・地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室・主席研究員 国立研究開発法人国立環境研究所・地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室・研究員

配分（予定）額

（単位：円）

平成30年度	平成31年度 （2019年度）	2020年度	2021年度
2,925,000円	4,270,500円	4,270,500円	2,135,900円

※平成31年度（2019年度）・2020年度・2021年度については予定額

研究目的の概要

日本の中山間地域の人口減少と都市への人口集中は、人口減少に悩む自治体のみの問題ではなく、国土荒廃と海外への環境負荷増大を招く。一方近年では、都市住民の豊かな自然への希求やリモートワークの浸透などを背景に、決して大きくはないが中山間地域への人口還

流の傾向がある。本研究では、社会科学と地理情報科学の融合と地域実務者の参画により、この誘因となる中山間地域の地域資本を解明し、移住者を受け入れて地域資本を活かす持続可能な地域システムデザインのあり方を提案する。

研究計画の概要

平成30年度から31年度（2019年度）前半にかけて①4資本の地域インベントリと地理情報データベースを作成し、2019年度後半に②4資本の相互作用と価値フローチャンネルを特定する。2020年度にはこれらに基づいて③アンケート調査を行い、移住・定住判断や身体・精神の充足に係る影響評価を行う。2021年度には、④研究成果を地域システムデザインに生かす取組を行う。定期的に地域の実務者を含む会合や3研究サイトの地域の官民等も含む地域ワークショップを行い、超学際的な共同研究を進める。